一般財団法人地域活性化センター　フェロー

多田　千尋

認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会理事長

＜略歴＞
１９６１年東京都生まれ。明治大学法学部卒業

現在は、認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会理事長、東京おもちゃ美術館館長、高齢者アクティビティ開発センター代表。乳幼児から高齢者までの遊び・芸術によるアクティビティケア及び世代間交流の実践・研究に取り組む。

２０１０年より林野庁の補助事業を受託し、2013 年から長門市をはじめ、全国 50 市町村、20 企業をウッドスタート宣言させ「木育」を全国的な国民運動に押し上げる。 国内最大の木育の集い「木育サミット」を東京、長野、徳島をはじめ全国各地で展開。さらには木育のシンボルである「おもちゃ美術館」は秋田、岩手、静岡、香川、福岡など２０２３年までに全国１２館が創設され、赤ちゃんからお年寄りまでの多世代交流型の木育推進のけん引役も務める。

日本で唯一のおもちゃ総合専門資格「おもちゃコンサルタント」を全国に 6000 人養成。その人的資源を活用して全国 270 カ所の赤ちゃんサロン「おもちゃの広場」を推進。さらに、子ども病院、被災地支援にも移動おもちゃ美術館を巡回する。

また、2008 年春、東京・新宿の廃校の小学校に開設した『東京おもちゃ美術館』の経営が評価され、経済専門誌『週刊ダイヤモンド』で「日本の社会起業家 30 人」の一人に選出される。また、寄付社会の構築で評価され、「2014 クラウドファンディング」「2015 ファンドレイジング」のそれぞれで大賞を受賞する。さらに、2018 年 2 月ウッドスタート宣言の仕組みが評価され、文部科学大臣賞を受賞

早稲田大学では「福祉文化論」、お茶の水女子大では「コミュニティ保育資源の活用」、明治大学では「NPO の経営学」などの教鞭をとる。

その他として、青年海外協力隊広尾訓練校講師を 10 年務めたことから JICA よ

り感謝状を受ける。また、文部科学省中学校家庭科学習指導要領策定委員、TBS ラジオ「子ども電話相談室」回答者、文化庁芸術選奨平成 15・16・17 年度推薦審査委員。

【著 書】

- 『おもちゃのフィールドノート』中央法規出版
- 『ボケないレッスン なつかしい遊びでいきいきと』晶文社出版
- 『遊びが育てる世代間交流 子どもとお年寄りをつなぐ』黎明書房
- 共著・編著
  『世界の玩具事典』多田信作共著 岩崎美術社、1989

＜得意とする分野＞

①保育・幼児教育
②高齢者福祉
③アクティビティケア
④福祉文化論
⑤ソーシャルデザイン
⑥世代間交流

＜自治体等との連携実績等＞

●徳島県、滋賀県、徳島県とのウッドスタート宣言協定
●吉野町、秩父市、小国町等の全国 52 市町村とのウッドスタート宣言協定
●由利本荘市、長門市、国頭村、佐川町、徳島県との姉妹おもちゃ美術館協定